



晩までゆる
 オヤ
 ねた

高買の飛脚屋は、己の
 尻に重きをウツ舞うらんか
 りや誰か打てぬ敲ても起
 りんトや子ハ餘り日ダ
 長ツトトレ鐘製でも
 撮んで味りみて
 見よ

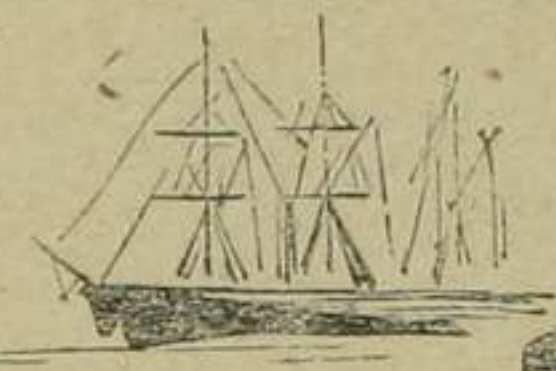


夜會て賣婦人ヲチヤホヤ云は
 せよと云ふ面相でもなれを以て
 ためしうて田地を買込ん
 でおけが氣樂まう羊男の分際
 が立つんと子孫の為り義田成
 買はずら先生トも野暮た
 ワキ



コレ氣をつつら
 せよ分らなへか
 外聞のこころ

バイとんとど
 事でイエが
 直に.....



井戸の上の藤棚はとうとう
 船頭役も飽きたら
 未だうらお次番
 譲り外不巳等
 の尻に帆上げて
 ソロく隠居
 の下揃へ庭木
 を剪つて入
 きて置いたら
 又返り候時
 船頭も来る
 ならう